

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成21年3月5日(2009.3.5)

【公開番号】特開2006-201173(P2006-201173A)

【公開日】平成18年8月3日(2006.8.3)

【年通号数】公開・登録公報2006-030

【出願番号】特願2006-9901(P2006-9901)

【国際特許分類】

G 01 R 27/28 (2006.01)

【F I】

G 01 R 27/28 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月15日(2009.1.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被試験デバイス(DUT)を測定する方法であって、

(1) パルスドRF入力信号を前記DUTに印加するステップと、

(2) 前記DUTの出力からのRFパルス応答スペクトル内の中央トーンを選択的に測定するレシーバに、前記DUTの出力を接続するステップと、

(3) ウィンドウ期間内において前記DUTからのデータ出力をサンプリングするように前記レシーバをトリガするステップと、

(4) 前記ウィンドウ期間の後にデータの取得を停止するステップと、

(5) フィルタ条件が満たされたかどうかを決定するステップと、

(6) 前記フィルタ条件が満たされていない場合に、前記ウィンドウ期間内において前記DUTからのデータ出力をサンプリングするように前記レシーバをトリガするステップおよび前記ウィンドウ期間の後にデータの取得を停止するステップを繰り返すステップと、を含む方法。

【請求項2】

前記データの取得を停止するステップが、第1のウィンドウ期間の立ち下がりエッジから第2のウィンドウ期間の立ち上がりエッジまで実行される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ウィンドウ期間の後にデータの取得を停止するステップが、ゼロ化されたアナログデータを測定するステップ、ゼロ化されたデジタルデータを測定するステップ、デジタルデータにゼロ係数を乗算するステップ、及びデータ収集を停止するステップ、のうちの少なくとも1つを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記ウィンドウ期間の後にデータの取得を停止するステップが、前記パルスドRF入力信号の雑音部分内において実行される、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

ウィンドウ期間内において前記DUTからのデータ出力をサンプリングするように前記レシーバをトリガするステップが、前記パルスドRF入力信号の雑音部分内において実行される、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記ウィンドウ期間の後にデータ取得を停止するステップが、前記ウィンドウ期間の後にマル擬似データを処理するように、デジタル信号プロセッサをプログラムするステップを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

ウィンドウ期間内において前記DUTからのデータ出力をサンプリングするように前記レシーバをトリガするステップが、前記レシーバに外部トリガ信号を提供するステップを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

ウィンドウ期間内において前記DUTからのデータ出力をサンプリングするように前記レシーバをトリガするステップが、前記レシーバにおいて内部トリガ信号を発生させるステップを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項9】

前記ウィンドウ期間が、所定のRFパルス持続時間に応じて設定される、請求項1に記載の方法。

【請求項10】

前記ウィンドウ期間が、測定されたRFパルス持続期間に応じて設定される、請求項1に記載の方法。